

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年5月19日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296番地3
名称 大塚地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 松田 博
電話番号 53-4047

令和7年1月16日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書・収支決算（見込）書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ニ) 地域まちづくり推進委員会備品管理台帳の写し
- (ホ) 地域協議会の意見書

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

大塚地域自治区
大塚地域まちづくり推進委員会

1 総括

令和6年度は全18事業を予定通りに実施できた。一部は雨天で内容を変更したため事業残額が多くなったが、新型コロナが落ち着いて行事ができたので地域住民も満足していた。また、大塚地区交流センターと連携して実施できた事業は参加者が大変多かったため、次年度も連携を図っていくことを計画している。今後も引き続き大塚地域の課題

2 収支決算

(1) 収入の部

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	4,228,000	4,228,000	0	
繰越金	1,141,402	1,141,402	0	
補助金	0	0	0	
負担金	1,669,600	1,500,537	▲169,063	
その他	0	1,138	1,138	銀行利息
合計	7,039,002	6,871,077	▲167,925	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	見守り活動事業	16年目	100,000	76,893	▲23,107	
防	防災訓練事業	16年目	600,000	220,552	▲379,448	
防	防災力の向上事業	13年目	80,000	37,031	▲42,969	
防	防災充実事業	13年目	822,002	814,550	▲7,452	
福	「やさしいまち大塚」プロジェクト事業	4年目	60,000	53,626	▲6,374	
福	生活支援共催事業	8年目	30,000	24,968	▲5,032	負担金 9,600
福	男女共同参画社会づくり事業	16年目	40,000	29,596	▲10,404	
福	スマイル大塚事業	15年目	110,000	88,464	▲21,536	
環	水流川クリーンアップ事業	14年目	340,000	323,164	▲16,836	負担金 26,200
環	ダンボールコンポスト事業	13年目	136,000	133,950	▲2,050	負担金 30,800
環	ペットマナー向上事業	10年目	46,000	38,696	▲7,304	
伝	大塚音頭普及促進事業	12年目	63,000	17,888	▲45,112	
健	健康増進事業	7年目	140,000	126,633	▲13,367	
教	江南小学校地区体育祭共催事業	14年目	666,000	456,298	▲209,702	負担金 339,457
教	大塚町体育祭共催事業	14年目	710,000	660,875	▲49,125	負担金 494,530
教	昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業	14年目	30,000	1,320	▲28,680	
他	祭り大塚共催事業	4年目	1,346,000	1,345,950	▲50	負担金 599,950
他	まちづくり充実事業	11年目	1,720,000	1,315,591	▲404,409	
	小計		7,039,002	5,766,045	▲1,272,957	
	繰越金			1,105,032	1,105,032	
	合計		7,039,002	6,871,077	▲167,925	

3 実施報告

〔1〕防犯・防災に係る事業

事業名	見守り活動事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり) ◎地域住民のコミュニケーションを充実させ、絆を結ぶ。</p> <p>2. 安全・安心な大塚の街をつくります。(防災・福祉) ◎地域の防犯、交通事故防止につなげる。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚地域の子ども達の見守り活動を通して地域の安全確保を図り、加えて交通マナーの向上を推進する。 ・あいさつ運動をとおして元気なまちづくりが出来る。 														
事業内容・手段	<p>(1) 小学校交通安全教室支援 江南小学校は5月15日グラウンドにて実施。各見守り隊参加 大塚小学校は5月23日雨天により、体育館にて実施。各見守り隊参加</p> <p>(2) 見守り活動 内 容 あいさつ運動を実施 実施時期 5月20日、21日、22日 10月22日、23日、24日 実施場所 各学校正門、見守り会員の各担当場所</p> <p>(3) 青色パトロールはやぶさ会支援等 内 容 日常の登下校時の見守り活動 パトロール実施者証配布 コロナ感染対策として人数制限、回数縮小 実施時期 1年間</p> <p>(4) 危険個所の足形マーク塗り替え作業(上区、南区) 実施時期 平成7年3月 実施場所</p>														
事業費	76,893円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2,775人</td> <td>1,039人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>79人</td> <td>461人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,854人</td> <td>1,500人</td> </tr> </tbody> </table> <p>一般参加者…交通指導員、スタッフ…見守り隊、青色パトロールはやぶさ会の総人数 あいさつ運動参加人数</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	2,775人	1,039人	スタッフ	79人	461人	合 計	2,854人	1,500人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	2,775人	1,039人													
スタッフ	79人	461人													
合 計	2,854人	1,500人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室…参加者全員で模擬交差点に立てたのが良かった。大人も知らなかった横断歩道の渡り方を知ることができ、大変参考になった。生徒と間近で一緒に研修ができて良かった。見守り隊の参加が、地区によって差があった。 ・あいさつ運動…のぼり旗の効果か、あいさつ運動が定着してきた。中学校の生徒会や部活動がまとまって参加するのは良かった。子供たちとあいさつを交わすのは楽しい。運動の成果が出ている実感が湧いた。朝から児童生徒の元気な声が聞けて大変良かった。あいさつの大切さを子どもたちが学んでくれていると実感している。声をかけても全く反応しない生徒もいる。 ・青パト…朝の見守りをしているが、スクールゾーンを通る車が絶えない。各学校の保護者が新規で講習を受けてくださった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校の協力も増え、防犯、交通事故防止につながっている	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会長宛てに協力依頼の文書を出した。
	②住民の参加	B	B	団体や地区間で、活動に差があったことを改善したい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	A	まちづくり全体としての取組が不十分だった。	事業の効果	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	A	PTA、見守り隊、民児協などの協力を得られた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 各自治会長宛てに協力依頼の文書を出した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>警察や地域団体との情報交換会や小学校が開催する交通安全教室への参加を通し、学校や警察機関等と情報を共有しながら、来年度も、見守り活動組織、青色パトロールを支援し、地域に根ざした地域の安全確保に努めていただきたい。 <意見への対応> 交通安全教室への参加、あいさつ運動実施、情報の共有等を通し、見守り活動組織、青色パトロールを支援し地域の安全確保に努めていきたい。</p>							対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>警察や地域団体との情報交換会や小学校が開催する交通安全教室への参加を通し、学校や警察機関等と情報を共有しながら、来年度も、見守り活動組織、青色パトロールを支援し、地域に根ざした地域の安全確保に努めていただきたい。<意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔1〕 防犯・防災に係る事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎中学生や子ども会へ防災訓練参加の呼びかけする。 2. 安全安心な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎災害時に緊急対応ができるように備える。														
目的 (期待される効果)	地域住民の防災意識の高揚などを図るため、8自治会でそれぞれ目的に沿った訓練を実施し、災害時の緊急対応が果たせるように備える。														
事業内容・手段	(1) 防災訓練、防災倉庫の点検実施 実施日 令和6年 9月29日 防災訓練（南区） 11月24日 防災訓練（りんどうヶ丘） 令和7年 2月 2日 防災倉庫の点検（上区）（下区） 2月 9日 防災訓練（C団地） 2月16日 防災訓練（中区） 3月 2日 防災訓練（宝塚） 3月 9日 防災訓練（大淀台） 会場 各自治会公民館、防災倉庫設置公園 内容 防災訓練（起震車や煙体験、水消火器など）防災講話 防災倉庫の資機材点検等を行った。 (2) 情報伝達訓練 実施日 令和6年9月8日 内容 8自治会への避難指示の伝達訓練														
事業費	220,552円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>520人</td> <td>690人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>60人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>580人</td> <td>770人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	520人	690人	スタッフ	60人	80人	合計	580人	770人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	520人	690人													
スタッフ	60人	80人													
合計	580人	770人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や竜巻の被害が大塚地区でも発生しているため、皆さんが真剣に防災訓練に取り組んでいる。 ・防災用品の展示では、「簡易トイレの準備が必要ですね。」との声が多かった。 ・自治会の防災訓練と学校や宮崎市のイベントが重なり参加者が少ない地域もあった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤ 事業の周知	B	B	防災訓練を実施した自治会のみ周知した。
	② 住民の参加	A	A	防災訓練には、地域住民の参加があった。			事業の効果	⑥ 課題解決への作用	
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	A	地域ごとではない自治会の垣根を外した訓練の実施が必要。	事業の必要性	⑦ 住民の満足度			B
	④ 各種団体との連携	A	A						
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が多いので、災害への備えや体験（起震車、煙テント）をし、自助に備えることを目的に防災訓練を各自治会で行った。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和2年4月・事業実績報告）>自治会が主催する防災訓練に、経費一部負担と関係機関との連絡調整を行うことで、円滑な訓練実施に取り組んでいる。しかし、参加者数の低迷や子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題もあり、地域の防災を担う防災部会として、自治会とともに訓練内容の検討や課題の解決を図ってもらいたい。<意見への対応>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一般の参加（学校等含む）は募らなかった。</p>								
	<p><地域協議会からの意見（令和3年4月・事業計画）>防災部会と自治会が密に連携して取り組んでいただきたい。また、学校との連携も図り、子ども達の参加を増やしていただきたい。<意見への対応>防災部会と自治会の連携は取れているが、学校との連携が難しい。</p>								
	<p><地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）>本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため防災訓練は開催できず、防災倉庫の点検を実施しましたが、来年度は、防災部会が更に地域の防災を担う組織として、自治会とともに訓練内容の検討と参加者の低迷、子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題解決を図っていただきたい。<意見への対応>新型コロナウイルス感染拡大防止のため防災訓練は開催できなかった。子どもや子育て世代への声かけもできなかった。</p>								
	<p><地域協議会からの意見（令和4年6月・事業計画）>防災部会と自治会が密に連携して取り組んでいただきたい。また、学校との連携も図り、子ども達の参加を増やしていただきたい。<意見への対応>防災訓練はできなかったが、各自治会に、防災倉庫の点検と資機材チェックをしてもらった。</p>								
	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>本年度も防災倉庫の点検やコロナ前どおりの住民参加の防災訓練など、自治会の判断により防災訓練が実施された。来年度は、防災部会が更に地域の防災を担う組織として、自治会とともに訓練内容を検討し、参加者数の低迷、子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題を図っていただきたい。<意見への対応></p>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません

〔1〕防犯・防災に係る事業

事業名	防災力の向上事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. 安全安心な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎防災士を増やすことで安全安心なまちづくりを目指す。														
目的 (期待される効果)	緊急災害時、行政組織の支援があるまでの間、地域のことを地域で守ることができるようにするために、地域の防災リーダーを育成する。														
事業内容・手段	<p>(1) 宝塚オレンジカフェ防災研修 実施日 令和6年5月23日 内 容 宝塚自治会のオレンジカフェでAED講習と防災備蓄品の大切さ 講 師：セコム宮崎 坂本聖二氏</p> <p>(2) 大塚地域自主防災連合会総会 実施日 令和6年7月9日 内 容 「地震災害とその備え」 会 場 大塚地区交流センター 2階学習室 講 師： 小松もりした自治会長／防災士 伊藤照夫氏</p> <p>(3) 防災研修：みやざきシェイクアウト 実施日 令和6年10月1日～11月30日の間 内 容 訓練音源を基に防災訓練や部会の時に実施</p> <p>(4) 宮崎市総合防災訓練 実施日 令和6年11月4日 内 容 午前9時15分に南海トラフ地震が発生したという想定での訓練 地震体験車、避難所受付の体験 会 場 青島地域総合センター</p> <p>(5) 防災広報紙『みんなの防災』の発行 防災訓練のチラシと同時に配布</p>														
事業費	37,031円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>70人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>82人</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	70人	80人	スタッフ	12人	15人	合 計	82人	95人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	70人	80人													
スタッフ	12人	15人													
合 計	82人	95人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は年度当初に部会員がスキルアップのために、防災研修に参加するという目標を立てたが、研修の日程の調整も難しく思うような研修ができなかった。 ・自治会からの依頼で、AEDと非常持ち出し品の研修ができたことはよかった。 ・参加者がいつも同じ人である。研修の案内をするがなかなか応募がない。 ・防災広報も1回しかできなかった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	B	
	②住民の参加	C	C		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	A			⑦住民の満足度	B	C	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・ 無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和2年4月・事業計画）地域防災の向上には、リーダーの存在は重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題である。今後とも、自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでもらいたい。</p> <p><意見への対応>防災士やSVCの資格を有する地域住民は増えているが事業や地域活動に参加していただける人材の発掘が課題である。</p>				対策	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）本年度は計画通りに事業を実施されましたが、地域防災の向上にはリーダーの存在が重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題です。来年度は自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでいただきたい。</p> <p><意見への対応>防災士の推薦はしているが、その方が地域のリーダーにはなっていない。参加していただけるようお願いしていきたい。</p>				対策	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業計画）地域防災の向上にはリーダーの存在が重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題です。来年度は自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでいただきたい。</p> <p><意見への対応>防災士もSVCも高齢になって、活動をやめる方もいるので、若い方に防災士になった後、活動してもらえよう呼びかけたい。</p>				対策	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）本年度は大方計画通りに事業を実施出来ましたが、地域防災の向上にはリーダーの存在が重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題です。来年度は自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでいただきたい。<意見への対応></p>				対策	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

〔1〕 防犯・防災に係る事業

事業名	防災充実事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. 安全安心な大塚の街をつくります。(防災・福祉) ◎避難所に備品等を設置し、より安全安心な街をつくる。														
目的 (期待される効果)	災害発生時における地域住民の自助・共助がスムーズにおこなえられるように、地域で必要な防災に関する防災機器等を把握し、本年度は避難所運営に必要な資機材の整備を行う。														
事業内容・手段	(1) 避難者運営に関わる資機材の整備 実施日 1年間 内容 大塚地域内の指定避難所並びに一時避難所(自主避難所)となる自治公民館や集会所に資機材を整備した。 ○ソーラー充電式投光器 ○ジョイントマット 避難時用マット														
事業費	814,550円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>12人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	—	—	スタッフ	12人	20人	合 計	12人	20人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	12人	20人													
合 計	12人	20人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・先年度に続き指定避難所にジョイントマットを買い足せて良かった。 ・ソーラー充電式投光器は停電時の各自治公民館等への自主避難時に備えて整備できて良かった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	B	B	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所である交流センターや体育館は、床が固く、冬は冷たいため、ジョイントできるマットを購入している。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>災害時に住民の自助・共助が円滑に行えるように、来年度も地域に必要な防災機器・用具を把握し、整備していただきたい。<意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔2〕 地域福祉に係る事業

事業名	「やさしいまち大塚」プロジェクト事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎認知症に理解ある人づくりを行ないながら、地域の絆を深めます。 2. 安心・安全な街をつくります（防災・福祉） ◎子どもと一緒に、認知症の人を見守るやさしいまちづくりを目指します。														
目的 (期待される効果)	高齢化が進む中、住み慣れた街でいつまでもいきいきと暮らしていく為に、たとえ認知症になってもステッカーを目にすることでご本人や家族が「地域でやさしく見守られている」という安心感をえられる。														
事業内容・手段	(1) 認知症サポーター養成講座 6月18日：江南小学校6年生 12月5日：大塚小学校5年生 ・大塚地区地域包括支援センター、認知症に理解ある事業所の職員による出前講座を開催。講座を通じて感じたこと、学んだことを児童が発表した。 ・講座を受講して認知症について理解を深めた証明という意味で、オレンジリングを児童に配布した。 (2) 「やさしいまち大塚」のポスターを作成 昨年のステッカーは、一度貼るとはがしにくいという意見があり、改めて印刷したものにラミネートを施し、自治会に配布した。														
事業費	53,626円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>133人</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>144人</td> <td>138人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	133人	123人	スタッフ	11人	15人	合 計	144人	138人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	133人	123人													
スタッフ	11人	15人													
合 計	144人	138人													
住民の声 (アンケートの結果等)	・劇や図などで細かく教えてくださったおかげで、認知症という病気をよく知ることができた。・最近認知症になったおじいちゃんのことを少し心配だったけれど、学んだことをいかして、おじいちゃんと過ごしていきたい。・わたしの周りにはまだ認知症の人がいません。だからこそ対応の仕方がよくわかった。・認知症が病気だということがわかった。・認知症には、さまざまな症状があり、重要なことを学べた。・祖母が認知症で「あるある」という場面が何度もあった。・認知症の大変さや苦しさがよくわかった。・高齢者が65歳からなど、新しいことをたくさん知ることができた。おじいちゃんとの接し方も知ることができてよかった。・家の人に話したい。・認知症のお世話をする人は、こんなに大変なんだと思った。・認知症の人とどう話せばいいか、などを知ることができて良かった。・今日習ったことをいかして、高齢者や認知症の方にやさしい声かけや正しい行動をしえていきたい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	ポスターを掲示したことに対する住民の反響を把握できていない。	広報	⑤事業の周知	B	B	小学校で行なわれている「認知症サポーター養成講座」において、講座に参加する児童へオレンジリングを渡したり、「やさしいまち大塚」のポスターの宣伝をしたりし
	②住民の参加	B	B	「やさしいまち大塚」のポスターを掲示できる方々に配布			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	「やさしいまち大塚」のポスターにラミネートを施し、家の外にも貼りやすいよう取り組んだ。	事業の必要性	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	A	自治会の役員の方々へ協力してもらえよう取り組んでいきたい。			有	無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点> 小学校で行なわれている「認知症サポーター養成講座」において、講座に参加する児童へオレンジリングを渡したり、アンケートをとったりした。</p> <p><改善点> オレンジリングを今年度だけに終わらず、継続していきたい。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和5年4月・事業実績報告）> 本年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応> 各地域の事業の周知徹底に至らなかった。部会員から地域住民に向けてステッカー掲示の協力依頼をしていきたい。</p>				対応	未	済		
	<p><地域協議会からの意見（令和5年8月・事業計画）>ステッカーを掲示していただく事業所、個人宅が少しでも増えるように、引き続き、事業に対する住民の理解を深めステッカーの周知徹底を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応> 小学校へ普及活動をしたが、大塚・江南地域全体へ広く周知できたとはいえない。次年度は部会員の認知症に対する理解を深めるための研修等を行い、認知症を周知する必要性を高めていきたい。</p>				対応	未	済		
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）> 本年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。<意見への対応>ステッカーを作成したが、ステッカーの形状が貼りにくいという問題があり、なかなか普及させることができなかった。</p>				対応	未	済		
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業計画）>大塚地域は、生活支援分野の取組が十分ではないので、まちづくり推進委員会も一員である「チーム大塚」で協議を重ね、是非、地域ぐるみで支え合う事業を展開してほしい。<意見への対応>「やさしいまち大塚」のポスターにラミネートを施し、色々な所に貼りやすいよう取り組んだ。今後は、自治会の役員の方々との協力を確保し、広く住民の皆様の目に止まり、事業の目的を理解してもらえようになりたい。</p>				対応	未	済		
	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>来年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。<意見への対応></p>				対応	未	済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

〔2〕地域福祉に係る事業

事業名	生活支援共催事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎地域の人々とふれあいと交流を深めることが絆づくり人材育成を進めていくことができる。 2. 安心安全な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎多様な困りごとの解決を図ることが、安心安全な大塚の街につながる。														
目的 (期待される効果)	地域包括ケアに基づいた新しい取り組みを模索し、地域の実情に合ったイベントや講座、取組ができることを目指す。														
事業内容・手段	(1) チーム大塚との会議 内容 地域の実情に合った介護や生活支援が一体的に提供される体制(地域包括ケアシステム)を展開するために、チーム大塚(第2層協議体)など、地域を支えていく専門家との話し合いの場に参加。 会議開催 令和6年5月14日、9月12日、11月25日														
事業費	24,968円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>41人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>53人</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	41人	75人	スタッフ	12人	20人	合 計	53人	95人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	41人	75人													
スタッフ	12人	20人													
合 計	53人	95人													
住民の声(アンケートの結果等)	・地域の有識者が集う会議なので、住民の声やアンケート等は未実施。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各自治会の理事宛てに、説明会をした。	広報	⑤事業の周知	A	B	自治会の回覧板で、アンケートやチラシを配布した。
		A	B	自治会のアンケートに、協力してもらった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	正副部会長3名が、全ての会議に参加した。		⑦住民の満足度			C
	④各種団体との連携	A	A	福祉部会の代表として、発言・提案をし、協議した。			事業継続の必要性		有・無

良かった点・改善点等
 <良かった点や改善した点等>
 アンケートを取って、住民のニーズを把握できた。ボランティア事務局を早期に立ち上げることが懸案事項である。

地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）>本年度実施した「みんなの居場所 中区の会」が好評で、初期の目的は達成しました。「中区の会」の問題点、改善点を検証し、来年度開催予定地区に活かしていただきたい。更に一人でも多くの引きこもりがち住民の方々に居場所を作っていただきたい。 <意見への対応> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった。	対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）>大塚地域は、生活支援分野の取組が十分ではないので、まちづくり推進委員会も一員である「チーム大塚」で協議を重ね、是非、地域ぐるみで支え合う事業を展開してほしい。<意見への対応> チーム大塚会議にて、高齢者等の身近な生活を支援するボランティア組織の必要性を協議している。そのため大塚・江南地域の実情やニーズを把握するためにアンケート調査を令和6年度初めから配布する予定。並行してボランティアを募るチラシや申込書を会議内で精査している。地域で支え合う事業を展開していきたい。	対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>チーム大塚の会議の中で、市や包括支援センターと一緒に、「住み慣れた大塚・江南地域で、いつまでも安心して暮らしていけるように、困っている人を地域ぐるみで支える仕組みづくり」を進めているので来年度も引き続き協議を重ね、出来るだけ早い時期に、大塚地域の生活支援分野の事業を確立してほしい。 <意見への対応>チーム大塚会議の中で、様々な団体とボランティアセンター設立のための協議を重ねている。	対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>第2層協議体「チーム大塚」の会議の中で、「住み慣れた大塚・江南地域で、いつまでも安心して暮らしていけるように、困っている人を地域ぐるみで支える仕組みづくり」の一環として、市や地域包括支援センターと一緒に、ボランティアセンター設立の協議を進めていますので、来年度も引き続き協議を重ね、是非ボランティアセンターを立ち上げてほしい。 <意見への対応>	対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

〔2〕 地域福祉に係る事業

事業名	男女共同参画社会づくり事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり、絆づくり)</p> <p>◎男女共同参画社会づくりのための人材育成を進め、女性の力を活用する。</p> <p>2. 安全安心な大塚の街をつくります。</p> <p>◎女性の力をもっと活用し、女性の視点で安全安心な大塚の街をつくります。</p>														
目的 (期待される効果)	性別や年齢にとらわれない幅広い世代向けに講座を開催し、大塚地域における男女共同参画社会の推進を図る。														
事業内容・手段	<p>(1) 男女共同参画社会づくり事業に関する講座</p> <p>実施日 令和6年11月16日(土)</p> <p>会場 中区自治公民館(ホール)</p> <p>講座名 「性やジェンダーについて考える講座」</p> <p>内容 地域で安心して暮らすために、大切な子どもを性被害から守るために気をつけておくべきこと。性についての理解。</p> <p>*子ども同伴の保護者のために保育スペースを確保し、保育士が待機。</p> <p>講師 ひむかWOMANからの派遣で、原田いくみ氏</p>														
事業費	29,596円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>11人</td> <td>16人(うち男性3人)</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	11人	16人(うち男性3人)	スタッフ	15人	11人	合計	26人	27人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	11人	16人(うち男性3人)													
スタッフ	15人	11人													
合計	26人	27人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育からジェンダーまで幅広く、わかりやすく心に響く講座だった。今後も引き続き講座開催を望む。 ・85歳の自分が、世の中の変化を喜ばしく思った。自分らしく生きることに関して色々なことを学べ、とても感謝している。 ・ジェンダー平等とは何かがわかった。 ・子どもさんにもぜひ聞いてほしい内容だった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	募集定員には達しなかったが、参加者ニーズは高い。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシを地域の小中学校だけでなく保育園にも配布したが、保育園の SNS を使った広報により、地域外の方の参加もあった。
	②住民の参加	A	A	地域の事業として根付かせたい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	講座前に研修に参加するなど、事前の自己研鑽に取り組んだ。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	県の男女共同参画センターに講師を依頼した。			事業継続の必要性		○・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良かった点…アンケートの結果から、85歳の高齢の方から若い世代の方々の参加があったこと。託児スペースを設けたことも、高評価を得た。 ・改善点…講座開催取組のチラシを早めに取り掛かり、申込期間を十分に取ること。<良かった点や改善した点等> 								
協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業計画）>本年度は、男女共同参画の基本的な考え方を学ぶ講座が計画されています。男女共同参画の意識をさらに啓発するために、一人でも多くの男性に受講してもらいたいのので、特に男性が参加しやすいよう開催日時等の検討をお願いしたい。</p> <p><意見への対応>昨年に続いて、子どもを性被害から守る講座に取り組んだが、今後は、広くジェンダーについて考える講座に取り組んでいきたい。</p>				対応	⊕・済			
					対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔2〕 地域福祉に係る事業

事業名	スマイル大塚事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎地域での支え合いや異世代交流を深め、顔の見える関係づくりに努めることで絆づくりができる。 ◎大塚の伝統文化の継承を進め、安心して生き生きと暮らせる住み良いまちづくりに取り組む。														
目的 (期待される効果)	子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所づくりを行い（三世代交流）、地域住民同士の交流を増やす。そして、安心して住んでいたいと思える町、笑顔いっぱいの町を目指す。														
事業内容・手段	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> (1) ふれあいサロン ① 上区ふれあいサロン 実施日 令和6年8月4日 内容 夏休み書道教室 会場 上区自治公民館 ② りんどうヶ丘ふれあいサロン 実施日 令和6年9月16日 内容 合唱、舞踊、ゲーム 会場 江南集会所 ③ 南区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 南区ちびっこ広場 ④ 中区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 中区自治公民館 ⑤ 下区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 下区自治公民館 ⑥ 上区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 上区自治公民館 </td> <td style="vertical-align: top;"> (2) 居場所の会 ① みんなの居場所 中区の会 実施日 令和6年8月、11月 内容 体操、ミニゲームなど 会場 中区自治公民館 ② みんなの居場所 宝塚の会 実施日 6年11月9日 内容 健康に関する話、体操 ミニゲーム 場所 宝塚公民館 </td> </tr> </table>			(1) ふれあいサロン ① 上区ふれあいサロン 実施日 令和6年8月4日 内容 夏休み書道教室 会場 上区自治公民館 ② りんどうヶ丘ふれあいサロン 実施日 令和6年9月16日 内容 合唱、舞踊、ゲーム 会場 江南集会所 ③ 南区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 南区ちびっこ広場 ④ 中区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 中区自治公民館 ⑤ 下区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 下区自治公民館 ⑥ 上区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 上区自治公民館	(2) 居場所の会 ① みんなの居場所 中区の会 実施日 令和6年8月、11月 内容 体操、ミニゲームなど 会場 中区自治公民館 ② みんなの居場所 宝塚の会 実施日 6年11月9日 内容 健康に関する話、体操 ミニゲーム 場所 宝塚公民館										
(1) ふれあいサロン ① 上区ふれあいサロン 実施日 令和6年8月4日 内容 夏休み書道教室 会場 上区自治公民館 ② りんどうヶ丘ふれあいサロン 実施日 令和6年9月16日 内容 合唱、舞踊、ゲーム 会場 江南集会所 ③ 南区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 南区ちびっこ広場 ④ 中区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 中区自治公民館 ⑤ 下区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 下区自治公民館 ⑥ 上区ふれあいサロン 実施日 令和6年12月8日 内容 もちつき、ミニゲーム 会場 上区自治公民館	(2) 居場所の会 ① みんなの居場所 中区の会 実施日 令和6年8月、11月 内容 体操、ミニゲームなど 会場 中区自治公民館 ② みんなの居場所 宝塚の会 実施日 6年11月9日 内容 健康に関する話、体操 ミニゲーム 場所 宝塚公民館														
事業費	88,464円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>751人</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>186人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>937人</td> <td>389人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	751人	314人	スタッフ	186人	75人	合計	937人	389人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	751人	314人													
スタッフ	186人	75人													
合計	937人	389人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>*初めて習字に参加したが、宿題を先生にみてもらいながらできてよかった。(上区) *初めて会った方と体操やゲームを楽しくでき、膝の悪い私でも痛さを忘れ楽しめた。*(中区) *色々な出し物があり、皆と交流できて楽しかった。子供たちからのお祝いメッセージは、心に残るものであり、大変うれしかった。(りんどう) *初めての餅つき体験ができ、子供が喜んでいて。(南区) *多くの方と出会うことができ、大いに笑い楽しかった。(宝塚)</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	もちつき会の開催が今年度は大塚町上中下南の4自治会と増えた。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会の回覧板などでお知らせした。
	②住民の参加	A	A	三世代交流がさかんに行われた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会の事業にまちづくりも協賛し取り組んだことで、行事を積極的に行う地区が増えた。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	自治会や子ども会と連携できた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点>新たに行事を開催した自治会が増えた。</p> <p><改善した点等>行事を行う上で、時間配分を考慮していく必要がある。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）>本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事は中止となりましたが、引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作っていただき、三世代交流や地域住民同士の親睦を深め、地域の方々の豊富な知識や経験・技能を活用し、高齢者の方々の生きがいづくりも計ってほしい。</p> <p><意見への対応> コロナ禍により事業中止が相次いだが、地域住民はイベントを欲していることが分かった。より多くの高齢者に参加を促し、三世代交流が実現できるようなイベントづくりをしていきたい。</p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）>生活支援事業の居場所づくりをふれあいサロン事業に加える形で一本化したことは、まちづくり会員の負担軽減にも繋がり、これからの持続可能なまちづくりを考えると大いに評価できる。引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作り、三世代交流や地域住民同士の親睦を深めていただきたい。<意見への対応></p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作り、三世代交流や地域住民同士の親睦を深めていただきたい。<意見への対応></p>					対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔3〕環境に係る事業

事業名	水流川クリーンアップ事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり、絆づくり) ◎行事への参加を地域住民に声かけし住民同士の交流を図る。</p> <p>2. 安全安心な大塚の街をつくります(防災・福祉) ◎川に親しみ様々な体験を通して水の危険性を体感したり、災害時に使う一人用トイレを体験したりして、防災意識を高めることができる。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・水流川に親しむ活動やごみ拾い活動を通して住民との交流を図る。 ・水流川の環境を学んだり、水質浄化液「えひめA I」の学習をしたりすることにより、地域の環境についての意識向上を図ることができる。 														
事業内容・手段	<p>(1) 水流川周辺の清掃、環境調査 実施時期 令和6年5月11日、7月6日、11月9日、 令和7年1月12日、3月9日 内 容 川の中や周辺の道路の清掃 ごみの重さや種類を記録、水質検査、水生生物や環境等の調査 会 場 水流川(小橋～黒橋)</p> <p>(2) 子ども生き物調査隊 実施時期 令和6年7月6日、9月14日(中止)、 内 容 水質検査、水生生物調査 会 場 水流川拠点地区</p> <p>(3) 江南小学校の環境学習サポート 実施時期 令和6年10月30日、11月8日 内 容 [10月] 水生生物や植物の観察、水質検査指導 プラスチックごみに関する手作りの紙芝居を披露 [11月] 昔の水流川の話、再生工事の話、水質検査指導 会 場 10月：水流川、11月：江南小学校</p> <p>(4) 水流川周辺の草刈り 実施時期 令和6年5月11日、6月30日、9月13日、9月27日 10月19日</p> <p>(5) 水辺安全講習会参加 実施時期 令和6年7月18日 会 場 高岡交流プラザ、大淀川</p> <p>(6) 魚のつかみ取り in 水流川 実施時期 令和6年9月28日 会 場 水流川</p> <p>(7) いかだを作ってあそぼう 実施時期 令和6年5月18日 会 場 水流川</p> <p>(8) 「身近な水辺のモニター調査報告会」(県土木事務所主催) 実施時期 令和7年2月7日 内 容 水流川の環境調査結果及び活動報告</p>														
事業費	323,164円														
対象者	大塚町地域住民 江南小学校5年生														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>456人</td> <td>455人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>188人</td> <td>175人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>644人</td> <td>630人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	456人	455人	スタッフ	188人	175人	合 計	644人	630人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	456人	455人													
スタッフ	188人	175人													
合 計	644人	630人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自然に触れる機会が減りつつあるので教育上ありがたい。 ・近くに住んでいても水流川まで来ることがなかった。この場所を知って良かった。 ・大淀川の水を上流まで引いて流していることを初めて知り勉強になった。 ・安全対策をとってあり安心して楽しめた。簡易トイレの使い方も教えてもらい災害時に役立つことも学びになった。環境問題についても考える良い機会でした。 ・このような企画は毎年楽しみにして応募させていただいています。自分のエリアに多くの生物が生息していることを知り、実際に触れることで生物に関心を持ち地域に愛着を持つことができます。準備などたくさんお手数をおかけしてこの企画があることに感謝しています。 ・とてもきらきらした子ども達の目を見ることができて嬉しかったです。思ったよりも川がきれいだったので、皆さんの活動が実を結んでいるんだなあと有難く思いました。貴重な体験をありがとうございました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	前年度のアンケート結果を参考に計画を立てて実施した。	広報	⑤事業の周知	B	A	クリーン活動の広報が不足した。
	②住民の参加	B	A	住民が積極的に参加しているとはいえない。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	再生工事後の水流川を維持し地域住民に川の良さを感じてもらい、環境への意識を持たせるにはまちづくりの取組が必要である。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎土木事務所、江南小学校、大淀川流域ネットワークと連携			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに参加した人や近所の人がクリーン活動に参加したいという声掛けをしてくれるようになった。 ・クリーン活動が予定通り実施できた。毎回約30kgのごみが海へ流れるのを多少なりとも防ぐことができ達成感を味わえた。 ・昨年に続き子ども調査隊を募集したが、興味を持つ児童が増えたようで参加者が倍になった。 ・糞に石灰でマークを付ける犬のフン放置対策を昨年からしているが、フンがかなり減ってきた。継続することの大事さを感じる。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）> 引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識の向上を図っていただきたい。特に「江南小の環境学習サポート」は、先生も熱心に取り組んでおられ、学校と地域が連携した素晴らしい内容になっているので、モデル事業として大塚以外にも積極的に広報し、多くの人に知っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔3〕環境に係る事業

事業名	ダンボールコンポスト事業	実施年数	13年目（H26.H30 休止）												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎ ごみ減量やたい肥の使い方を学んだり話し合ったりする中で、住民同士の交流を図り、宮崎市のごみ減量への意識向上を図る。														
目的 (期待される効果)	家庭で出たごみをダンボールコンポストで処理することにより生ごみの減量化を図り、環境について考える機会を提供する。														
事業内容・手段	(1) ダンボールコンポストの使い方と環境を学んだ。 水質浄化液「えひめ AI-2」の効能と使い方を学んだ。 実施時期 令和6年7月13日 会場 大塚地区交流センター (2) ダンボールコンポストのでき具合や堆肥の使い方を学んだ。 コンポストでできたたい肥を使って大根の種をまく方法を学んだ。 実施時期 令和6年9月28日 会場 大塚地区交流センター 講師 NPO 宮崎ダンボールコンポスト県央支部 高橋保雄氏														
事業費	133,950円														
対象者	大塚地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>54人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>9人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>63人</td> <td>57人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	54人	35人	スタッフ	9人	22人	合計	63人	57人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	54人	35人													
スタッフ	9人	22人													
合計	63人	57人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・少々手間ですがダンボールだと身近において管理できるので畑に置いておくコンポストに比べて良いと思いました。 ・1回目で聞き漏らしたことなどあり、ちょっと面倒かなと思っていましたが、2回目で色々わかりとても良かったです。 ・生ごみをごみに出す回数が少なくなった。 ・虫がわくのは嫌だが、コンポストが熟成できるようにな生ゴミすら可愛く思えてくる。 ・楽しく肥料を作っています。台湾トキワアジサイを挿し木し、元木よりも立・派に育ちました。 ・複数回参加していますが毎回勉強になります。虫もいまだに発生しますが慣れてきました。 ・ダンボールコンポストの基材がもっと気軽に購入できると良いです。 ・「えひめ AI-2」について効果が分かるような実験ができると良い。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	アンケートや参加者の満足度を踏まえ計画した。	広報	⑤事業の周知	A	B	「まなぶど」の活用
	②住民の参加	A	A	「まなぶど」の効果があり、参加者が増えた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	講座を実施することで安価で材料が手に入るためごみ減量を継続できている住民が多い。	事業継続の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	NPO宮崎ダンボールコンポストネットワーク県央支部と連携した。大塚地区交流センターとも連携できた。					
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が増えると地域の生ごみが減り、市に貢献できていると思う。 昨年度から大塚地区交流センターと連携しているが、今年度は「まなぶど」でも募集したので、初めて参加する方が多かった。 ダンボールコンポストでできたたい肥を交流センターの花壇の土と混ぜることで、混ぜ方の実践と大根の種まきを行うことができた。 水質浄化液「えひめAI-2」を部会員で作り1回目に配布した。使用した感想が聞けたことは良かった。好評だったので来年度も継続したい。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）></p> <p>ダンボールコンポストは地域にかなり普及し、確実に、生ごみの減量化が図られていますので、来年度も引き続き、環境についての意識が向上するよう推進していただきたい。</p> <p><意見への対応></p>							対応	未・済

〔3〕環境に係る事業

事業名	ペットマナー向上事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎ペットマナーの学習をし、飼い主同士の交流をすることが絆づくりにつながり、住み良いまちづくりにつながっていく。</p> <p>2. 安全安心な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎飼主と地域とのトラブルを未然に防ぎ、飼主の防災意識を高め、万が一の際に周囲の理解を得られるようにしておく。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人社会と犬社会の安全な橋渡しとなるような愛犬家の集いとする。 ・飼育者間の相互理解を図り、命への責任意識を高める。 ・飼い主のペットマナーの啓発及び広報等をする。 ・飼犬の社会化を促し、安心で安全な飼犬の育成に助力する。 														
事業内容・手段	<p>(1) 飼主と飼犬の交流会(ドッグラン)</p> <p>実施日 令和6年 4月7日、5月5日、6月2日、8月4日、10月6日、12月1日 令和7年 2月2日、3月2日</p> <p>会 場 鎌ヶ迫池ゲートボール場</p> <p>(2) ペットマナーの広報</p> <p>実施時期 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>内 容 マナーポスターを作成し、まちづくり掲示板や地域に掲示した。 フン害の場所に石灰でマークをつけ、注意喚起を行った。</p>														
事業費	38,696円														
対象者	大塚地域住民及び隣接地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>83人(犬67匹) (大人80人、小人3人)</td> <td>80人(犬53匹) (大人67人、小人6人)</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>91人</td> <td>89人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	83人(犬67匹) (大人80人、小人3人)	80人(犬53匹) (大人67人、小人6人)	スタッフ	8人	9人	合 計	91人	89人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	83人(犬67匹) (大人80人、小人3人)	80人(犬53匹) (大人67人、小人6人)													
スタッフ	8人	9人													
合 計	91人	89人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・通りすがりの方にドッグランの経緯や目的を話したら「頑張ってください」と応援の言葉をかけてもらった。 ・ドッグランを継続してほしい。 ・参加者同士の情報交換ができるのがよい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年				本年度	前年		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	LINE グループを活用できた。知人に声をかけて事業の広報ができた。	
	②住民の参加	A	A	参加者の自主的な運営により、知り合いに声をかけるなどして新しい参加者が増えた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B	住民同士の交流が十分にできている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特にドッグランのニーズが多いので、まちづくり推進委員会としてサポートをしていきたい。			⑦住民の満足度	B	A	参加者が積極的に運営することで、自分達の活動という意識が芽生えた。
	④各種団体との連携	B	A		事業継続の必要性				○有・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ドッグラン担当者の変更により、参加者全員で運営をすることになった。 <p>LINE グループで近況などの報告、ドッグラン当日の開催の有無の意思確認など連絡を取り合い自主的な運営できた。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）></p> <p>来年度も引き続き、ペット飼育者のマナー向上と地域住民同士の絆づくりを図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔4〕 伝統文化に係る事業

事業名	大塚音頭普及促進事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり）</p> <p>◎地域住民に踊りを指導したり披露したりすることで大塚音頭を普及し、みんなで踊ることが住民同士の絆づくりにつながる。また若い世代の人づくりにもつながっていく。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚音頭を大塚地域の文化財として永年にわたり歌い継ぎ、踊り継ぐことにより大塚地域のさらなる活性化を図る。 ・子ども達にふるさとを思い出させる曲となるように、大塚のシンボル曲とし、住民に普及促進する。 														
事業内容・手段	<p>(1) 江南小学校PTA 踊り指導 令和6年5月15日</p> <p>(2) 大塚音頭保存会総会 令和6年8月24日</p> <p>(3) 大塚小学校3年生 踊り指導 令和6年9月6日</p> <p>(4) 大塚町体育祭でプログラムとして、参加者と踊った。 令和6年11月3日</p> <p>(5) 他のまちづくり事業内や各地区の祭りで、参加者に踊ってもらった。</p>														
事業費	17,888円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>756人</td> <td>714人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>76人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>832人</td> <td>801人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	756人	714人	スタッフ	76人	87人	合 計	832人	801人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	756人	714人													
スタッフ	76人	87人													
合 計	832人	801人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの地域の方に来ていただけて良かった。 ・地域の方々と交流ができて、子ども達も楽しく踊ることができた。 ・久しぶりに皆さんの前で大塚音頭を披露できてよかった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	A		広報	⑤事業の周知	B	A	体操教室、運動会などで積極的に取り入れて、踊る機会を増やす。
	②住民の参加	A	A				事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての	A	A			⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A				事業継続の必要性		○有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 大塚小での踊り方指導時に、保存会のメンバーが体育館の中心で円になり、まずは子ども達に踊りをひと通り見てもらったことが良かった。また、クラス別に分かれた後も、子ども達が見やすいようにそれぞれの円の中で踊ったのが良かった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）> 本年度は、地域や学校から指導要請があり、指導の機会が増えつつありますので、来年度はさらに地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただくよう積極的に広報し、大塚音頭の普及を図っていただきたい。また、スポーツ・レクリエーション部会と大塚音頭保存会の密なる連携を図りながら、事業を展開してほしい。 <意見への対応> 大塚音頭保存会の組織表を作って、スポーツ・レクリエーション部会に入れる。</p>						対応	○未・済
		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）> 小学校での児童、先生、保護者への踊りの指導と大塚町体育祭、江南小学校地区体育祭での大塚音頭の普及は定着してきたようですが、来年度はさらに地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただけるよう、スポーツ・レクリエーション部会と大塚音頭保存会が密なる連携を図りながら、積極的に大塚音頭の普及を図ってほしい。 <意見への対応></p>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

〔5〕健康に係る事業

事業名	健康増進事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎地域住民が集うことで「話・和・輪」が生まれ住みよいまちづくりに繋がる。														
目的 (期待される効果)	体を動かす機会が減っている中、少しでも個人がリフレッシュできる内容について検討し、企画したイベントを通して、健康増進に繋げるとともに、地域の交流を図ることを目的とする。														
事業内容・手段	(1) ニュースポーツ体験 実施時期 令和6年6月30日 会場 大塚地区交流センター 多目的ホール (2) ストレッチ体操 実施時期 令和6年9月1日 会場 大塚地区交流センター 多目的ホール (3) 街中オリエンテーリング 実施時期 令和6年10月1日～20日 会場 大塚地域内 (4) ノルディックウォーキング体験会 実施時期 令和7年2月15日 会場 大塚地区交流センター 多目的ホール														
事業費	126,633円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>87人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>53人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>140人</td> <td>113人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	87人	68人	スタッフ	53人	45人	合計	140人	113人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	87人	68人													
スタッフ	53人	45人													
合計	140人	113人													
住民の声(アンケートの結果等)	(1) ニュースポーツ体験 汗をかいて気持ちよかった。機会があればまた参加したい。これらのゲームを常設している場所があると、笑顔になれる居場所づくりになりいいと思う。 (2) ストレッチ体操 自分の体力が劣っていることを確認できた。腹筋がないので続けたい。全体的に充実した内容だった。とても楽しく体を動かせた。 (3) 街中オリエンテーリング 運動不足解消に繋がった。普段は中々通らない道を通った。自転車で通るには危険な場所も確認できた。パターンが数カ所あって、楽しめた。今後も継続してほしい。 (4) ノルディックウォーキング体験会 楽しかった。筋肉がつきそうでよかった。気持ちよかった。体を皆で動かせるイベントの企画をお願いします。ノルディックウォーキングを続けてほしい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B		事業の効果	⑤事業の周知	A	B		
	②住民の参加	B	B			⑥課題解決への作用	A	B		
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A			⑦住民の満足度	A	A		
	④各種団体との連携	B	B	他部会への参加アピールをしてもいいのでは	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 広報、PRについて改善して好評価だった。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）> 街中オリエンテーリングは、開催期間内に自由な時間で参加できるという気軽さが好評で、参加者も多く今年も大変好評でしたが、ニュースポーツ体験とストレッチ体操、今年初めて開催したノルディックウォーキングは参加者が募集人数に達していませんでしたので、広報を工夫するなど、参加者の確保に努めていただきたい。 <意見への対応>						対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔6〕教育に係る事業

事業名	江南小学校地区体育祭共催事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり) ◎地域住民が集まる体育祭を行うことで交流ができ、そのことが住み良いまちづくりにつながる。														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内住民の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図る。 ・子ども達が心身ともに健全に成長できる環境づくりを行う。 ・地域の子どもの「ふるさと(郷土愛)」づくりを行う。 														
事業内容・手段	(1) 第35回江南小学校地区体育祭 実施時期 令和6年5月19日 会場 江南小学校運動場 <11時半より雨天中止>														
事業費	456,298円														
対象者	江南小学校校区内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>740人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>16人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>756人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	740人	—	スタッフ	16人	—	合計	756人	—
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	740人	—													
スタッフ	16人	—													
合計	756人	—													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・たいへんよかった 39.7% よかった 48.3% ・面白かった競技 春一番(徒走) 46% がんばれ母さん(風船割り) 50%など ・まちづくり共催事業がのぼり旗で確認できた。 ・雨だけはどうにもならないが子ども達のリレーはやりたかった。 ・楽しく参加でき良いコミュニケーションの場になった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
	本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	広報	⑤事業の周知	A	—	まちづくり推進委員会ののぼり旗を立てる
	②住民の参加	A	—	事業の効果	⑥課題解決への作用	B	—	競技に出る子ども達（中学生、高校生）の参加が少ない
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—		⑦住民の満足度	A	—	
	④各種団体との連携	A	—	事業継続の必要性		有 無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 久しぶりに自治会とPTAとスポーツ・レクリエーション部会と一般の方が協力した大会なのでなんとか開催できてよかった。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）> 自治会、PTA、まち推スポーツ・レクリエーション部会、住民の方々が一体となった体育祭が、4年ぶりに開催されました。 <意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔6〕教育に係る事業

事業名	大塚町体育祭共催事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：	なし												
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。 ◎本事業を継続していくことで、地域住民同士の親睦をより一層深めていく。														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚4地区住民の親睦を深め、地域の連携と活性化を図り三世代交流の場を作る。 ・自治会未加入者の加入を促進する。 														
事業内容・手段	(1) 大塚町第54回体育祭 実施時期 令和6年11月3日 会場 大塚小学校運動場														
事業費	660,875円														
対象者	大塚町4地区の住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>593人</td> <td>502人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>610人</td> <td>532人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	593人	502人	スタッフ	17人	30人	合計	610人	532人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	593人	502人													
スタッフ	17人	30人													
合計	610人	532人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生から高齢者まで、多くの方が楽しそうに競技されている姿がとても良かった。 ・各団の応援がすばらしく、各地区のまとまりが一層深まったのではないかと。 ・好天に恵まれ、地区の方々が集まって楽しく運動に参加できる事は、すばらしい事だ。 ・一般住民の参加者がもう少し多いと良い。 ・体育祭前の準備段階で、仲良くなったりして良かったと思う。 ・普段会えない人に会えた。 ・各団工夫をこらした応援と、一体化した競技にコミュニティーの良さを実感した。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤ 事業の周知	B	B	広報のあり方を要検討
	② 住民の参加	A	B				事業の効果	⑥ 課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の必要性	⑦ 住民の満足度			A
	④ 各種団体との連携	A	A				事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>例年10月開催で熱中症も懸念されたが今年の開催は11月で過ごしやすい時期の開催でよかった。救護班の担当に有資格者をお願いする。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年8月・事業計画）></p> <p>地域住民同士の親睦が深まり、絆づくりが図られるように、本年度も自治会連合会と大塚地区体育会が連携を密にして、体育祭を盛り上げていただきたい。また、まちづくり推進委員会との共催事業であることのPRも更に図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p> <p>のぼり旗を目立つ位置に掲示すると同時に、ちらし、プログラムに共催事業であることを記載する。また、開会式で案内する。</p>						対応	未・済
		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）></p> <p>大塚連合自治会と大塚地区体育会、まちづくり推進委員会が密に連携し、住民同士の親睦や三世代交流が大いに深められました。引き続き、なお一層のきずなづくりをお願いしたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔6〕教育に係る事業

業名	昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり）</p> <p>◎日本文化（昔の遊び）を通じて異世代交流を深めることができる。</p> <p>◎勝敗にこだわらないレクリエーション性の高いスポーツで異世代交流を深めることができる。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域の方と子ども達や保護者の三世代が昔の遊びを通じて交流の場を設け、日本の伝統的な遊びの中で創造性を養うとともに、文化や昔の遊びにふれる学び・楽しむことを目的とする。また、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼としたニュースポーツを紹介し体験してもらう。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 大塚小祭り</p> <p>実施時期 令和6年11月10日</p> <p>会場 大塚小学校校舎内</p> <p>内容 ニュースポーツの体験・昔の遊び体験</p> <p>(2) 江南小フェスタ2024</p> <p>実施時期 令和6年11月10日</p> <p>会場 江南小学校校舎・教室・体育館</p> <p>内容 ニュースポーツの体験・昔の遊び体験</p>														
事業費	1,320円														
対象者	地域住民・地域の子ども														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,246人</td> <td>2,552人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>51人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,297人</td> <td>2,632人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,246人	2,552人	スタッフ	51人	80人	合計	1,297人	2,632人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,246人	2,552人													
スタッフ	51人	80人													
合計	1,297人	2,632人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がすごく喜んでいて、楽しい時間を過ごせた。 ・初めてする遊びがあって、おもしろかった。 ・よく飛ぶ紙飛行機の折り方を教えてもらい、うれしかった。 ・やり方が分からず、友達や担当の人に教えてもらった。 ・嫁恐竜のふたりと一緒に遊んでくれたので、楽しかったです。 ・部屋の中だったので、ゆっくり遊べました。 ・親子で楽しめました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤ 事業の周知	A	A	
	② 住民の参加	A	A				事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組と	A	A			⑦ 住民の満足度			A
	④ 各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技を教室で行い、順番待ちの人は廊下に並ぶように分けて動線を確保したため、スムーズに行うことが出来た。 ・人気のある競技は行列ができており、やりたかったが出来なかったという声もあったので、競技の台数を増やすなど、PTAの運営の方たちと検討していきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年8月・事業計画）></p> <p>昔の遊びを通じて異世代交流を深め、子ども達が日本の文化に触れる機会を提供し、また、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環としてニュースポーツが体験できる貴重な事業なので、今後も是非、継続していただきたい。</p> <p><意見への対応></p> <p>子ども達の興味のある昔遊びの種類を増やすよう努力する。</p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）></p> <p>大塚小祭り、江南小フェスタの中で、本年度は、よく飛ぶ飛行機の折り方やあやとり、めんこ、おじゃみ、けん玉、折り紙等の昔の遊びを体験しました。また、ニュースポーツではスカットボール、ミニボーリング、ラダーゲッター、ダーツにチャレンジし、参加した子ども達は、楽しそうに、真剣に取り組んでいました。本年度も、大塚小・江南小ともにPTAと一体となった運営がなされ、事業の目的は、十分達成されましたので、来年度も、PTAとの連携を密にし、一層の事業の充実を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>					対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] その他の事業

事業名	祭り大塚共催事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり)</p> <p>◎大塚地域の目指すまちの姿(将来像)のキャッチフレーズが「次世代も笑顔あふれる幸せな街大塚」とあるように、地域の青年部が中心となった「祭り実行委員会」が活動することにより、地域在住の若者・学生・子育て世代の人々も加わり、将来を担う人材育成(塚人の育成)と絆づくりにつながる。</p>														
目的(期待される効果)	<p>多世代が参加する「祭り大塚」を開催することにより、多くの地域の人々がふれあい、若者が伝統文化を継承し、住みやすく魅力ある大塚になることで人材「塚人の育成」を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>1. 第4回祭り大塚を実施する</p> <p>実施日時 令和6年10月13日(日) 15時～20時</p> <p>場 所 宮崎太陽銀行大塚支店駐車場 舞台メインステージ1カ所 宮崎銀行大塚中央支店駐車場 飲食ブース</p> <p>駐車場 旬感マーケット大塚店駐車場</p> <p>内 容 各種団体ダンス、太鼓演奏、地元グループ演奏</p> <p>模擬店 自治会、PTA、スポーツ少年団、地元団体 地元関係者キッチンカー販売</p> <p>準 備 10月12日8時30分開始 45名参加</p> <p>片付け 10月14日8時30分開始 40名参加</p>														
事業費	1,345,950円														
対象者	地域住民														
参加者数(内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>10,940人</td> <td>3,000人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>60人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11,000人</td> <td>3,066人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	10,940人	3,000人	スタッフ	60人	66人	合 計	11,000人	3,066人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	10,940人	3,000人													
スタッフ	60人	66人													
合 計	11,000人	3,066人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・終盤は雨の中の閉幕となったが、概ね晴天での開催で来場者も大変盛り上がった ・飲食ブースが少なく歩道などで食べている人がいて、危険を感じた。 ・響座のステージが雨の中の演奏になったが、とても感動した。 ・会場内外でのゴミの問題が指摘された、歩道に食べ残しが散乱していた。会場内でも ゴミ籠がいっぱいになりあふれていた。交代で担当を決める必要がある。 ・青少年グループの問題行動があり、近隣住民の物を破損したとの苦情が届いた。 ・騒音の苦情があった。終わる時間が遅くなったのでうるさかったとの苦情。 ・今後の開催場所を改めて見直す必要が出てきた。 ・地元商店から実行委員に近隣の店からの参加を提案された。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	コロナ後2回目の開催と成ったが喜ぶ声が多かった	広報	⑤事業の周知	A	B	開催当日広報車で案内をした。のぼり旗に開催日時を知らせる、チラシを取り付けた。	
	②住民の参加	A	A	待ち望んでいたもので早くから人が集まった			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	次年度から部会に属して、部会事業にしたい。	事業の効果	⑦住民の満足度			A	A
	④各種団体との連携	A	A	自治会の協力で資金人員面での連携がとれた。銀行の取り組みが良かった			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 実行委員に高校生が入り、スタッフの幅が広まった。次年度は大学生の参加も図りたい。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）>多世代が参加する、地域一体となった祭りとなるよう、自治会を始めとする大塚地域の各種団体と一層の連携を深めていただきたい。また、まちづくり推進委員会との共催事業として、活動交付金を活用するが、将来的には、活動交付金に依存しない、全くの自走事業となるよう、更なる自主財源の確保を図っていただきたい。<意見への対応>自治会に資金、人員の面でも協力していただいた。実行委員が手分けして地域や企業を周り資金が多く集まり、自走事業に向けて一歩前進した。</p>					対応	未・済		
		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>雨の中での開催となりましたが、4年降りということもあって、約3千人の入場者で賑わいました。ただ、準備段階での事務分担やまとめ役が明確でなく、準備の進捗状況や実行委員の連携等が十分ではありませんでしたので、今回の祭りをしっかり検証し、来年度の祭りの運営に活かしていただきたい。また、将来的には、活動交付金に依存しない、全くの自走事業となるよう、更なる自主財源の確保を図っていただきたい。<意見への対応>実行委員長が事情で参加出来なかった事もあり、備品等の準備が足りなかったり流れが悪かったりした。今後各部が独自で展開出来る様な組織作りが必要である。</p>						対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）>終盤は雨が降りましたが、概ね晴天の中での開催でしたので、1万人を超える入場者で賑わいました。出店も全店、ほぼ完売で、大変盛り上がりましたが、会場周辺からごみの苦情や青少年の問題行動への苦情、不審者情報等ありましたので、しっかり検証し、来年度の祭りの運営に活かしていただきたい。また、将来的には、活動交付金に依存しない、自走事業となるよう、更なる自主財源の確保も図っていただきたい。<意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔7〕 その他の事業

事業名	まちづくり充実事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり)</p> <p>◎広報紙の発行やまちづくり推進委員会の車を活用することにより、地域住民にまちづくり活動を身近に感じてもらい住民主体のまちづくりにつなげていく。</p> <p>2. 安全・安心な大塚の街をつくります。(防災・福祉)</p> <p>◎行事にAEDを持参し緊急時に備える。</p>														
目的 (期待される効果)	大塚地域まちづくり推進委員会の活動の充実と住民主体のまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) AEDのリース</p> <p>(2) まちづくりの車(リース車)を使用して地域を巡回する。</p> <p>(3) 広報紙の発行</p> <p>(4) まちづくり掲示板やまちづくり看板の活用</p> <p>(5) まちづくり充実用品の購入</p> <p>(6) 役員と部会員の旅費</p> <p>(7) 全体会の開催</p>														
事業費	1,315,591円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>100人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100人</td> <td>150人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	—	—	スタッフ	100人	150人	合計	100人	150人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	100人	150人													
合計	100人	150人													
住民の声(アンケートの結果等)	—														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A				事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	自治会、大塚地区交流センターと連携した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年間コロナ禍で出来なかったイベント、会議等が以前以上に実施できた。 ・フェイスブックやインスタグラム、マチコミメールの発信が本年度は全くできなかった。事務局員が講習を受け、情報発信がきちんとできるようにしていきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月・事業実績報告）></p> <p>まちづくり推進委員会の活動や地域の情報を住民にいかに周知するかは、重要なテーマです。令和3年2月から広報紙の配布のほか、フェイスブックによる情報発信や広報も始めていますので、来年度も更なるフェイスブックの充実、飛躍をお願いしたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	見守り活動事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	76,893	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	76,893	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	1,000	旅費 1,000
4	需用費	63,573	飲料水 8,718 タオル 3,152 交通安全教室用石灰 1,590 ポール固定用結束バンド 4,453 道路線引き用スプレー 16,560 青パト用キーボックス 5,450 衣装ケース 2,280 コピー用紙 5,550 チラシ印刷 10,820 横断用黄旗 5,000
5	役員費	12,320	たすきクリーニング 11,880 代引き手数料 440
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
	合計(B)	76,893	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	220,552	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	220,552	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	213,952	LEDライト、乾電池 128,200 保存食、保存水 81,772 コピー用紙、文具ほか 3,980
5	役務費	6,600	防災訓練保険 6,600
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	220,552	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	防災力の向上事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	37,031	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	37,031	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	37,031	飲料水 1,896 コピー用紙 7,425 インク 27,710
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	37,031	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	防災充実事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	814,550	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	814,550	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	812,790	ソーラー充電式投光器20個 198,000 ジョイントマット81組 614,790
5	役務費	1,760	振込手数料 1,760
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	814,550	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	「やさしいまち大塚」プロジェクト事業
-----	--------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	53,626	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	53,626	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	50,656	ラミネート 5,640 チラシ印刷 1,980 オレンジリング 33,000 印刷用紙 2,246 結束バンド 7,790
5	役務費	2,970	代引き手数料 330 送料 1,760 振込手数料 880
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	53,626	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	生活支援事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	15,368	
2	繰越金		
3	負担金	9,600	大塚地区社協9,600円
4	合計(A)	24,968	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	24,968	封筒 7,943 印刷用紙 7,425 お茶代(社協より) 9,600
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	24,968	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	男女共同参画社会づくり事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	29,596	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	29,596	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	保育士謝金 (@3,000×2人×2h) 12,000
3	旅費		
4	需用費	15,156	チラシ 13,740 飲料水 1,416
5	役務費	1,440	保険 1,000 代引き手数料 440
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	1,000	公民館使用料 1,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	29,596	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	スマイル大塚事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	88,464	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	88,464	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	9,000	体操指導謝金、書道指導謝金
3	旅費		
4	需用費	70,584	お菓子 18,795 飲料水 6,618 習字道具 1,001 もち米 40,000 箱代 5 除菌シート 796 印刷用紙 3,369
5	役務費	2,680	中区保険 1,840 上区保険 840
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	6,200	公民館使用料 2,000 エアコン使用料 4,200
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	88,464	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区
大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	水流川クリーンアップ事業
-----	--------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	296,964	
2	繰越金		
3	負担金	26,200	参加費 (@300×64人) 19,200円 宮崎県土木事務所7,000円 身近な水辺のモニターとして (活動費5,000円、旅費2,000円)
4	合計 (A)	323,164	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	4,000	川づくり交流会 (国交省) 1,000 モニター報告会 (県土木) 3,000
4	需用費	227,424	飲料、弁当 37,209 草刈機替刃 12,940 つかみ取り用アユ 80,000 パックテスト、比色表 (COD) 14,740 用紙 28,195 胴長3着 35,400 文具、手袋、ごみ袋 18,940
5	役務費	13,955	保険 11,120 はがき 2,835
6	委託料	50,560	草刈り委託費 40,000 スタッフTシャツ 10,560
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	27,225	パーソナルトイレ 27,225
11	積立金		
12	合計 (B)	323,164	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	ダンボールコンポスト 事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	103,150	
2	繰越金		
3	負担金	30,800	参加者負担金30,800円 (@700×44人)
4	合計 (A)	133,950	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	133,950	飲料 3,196 野菜の種 396 水質浄化液材料 3,858 コンポスト材料費 126,500
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	133,950	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	ペットマナー向上事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	38,696	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	38,696	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	34,216	用紙 20,770 インク、文具 13,446
5	役務費	4,480	保険 4,480
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	38,696	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	大塚音頭普及促進事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	17,888	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	17,888	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	11,200	踊り方指導謝金 11,200
3	旅費		
4	需用費	5,688	飲料 5,688
5	役務費	1,000	保険代 1,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	17,888	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	健康増進事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	126,633	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	126,633	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	18,000	講師謝金 18,000
3	旅費		
4	需用費	89,633	チラシ印刷代 51,110 飲料 9,750 文具 1,234 広報啓発グッズ 15,120 インク代 12,419
5	役務費	10,500	保険代 2,840 代引き手数料 1,760 切手代 5,900
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	8,500	ポールリース代 8,500
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	126,633	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	江南小学校地区体育祭共催事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	116,841	
2	繰越金	0	
3	負担金	339,457	江南小PTA150,000円 自治会189,457円
4	合計(A)	456,298	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	456,298	用紙・文具 10,499 飲料 32,417 花火代 16,100 弁当 55,515 風船・ビニール袋 2,310 【自治会・PTA】景品 327,302 【自治会・PTA】 スポーツライン 12,155
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
	合計(B)	456,298	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	大塚町体育祭共催事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	166,345	
2	繰越金	0	
3	負担金	494,530	自治会負担金494,530円
4	合計(A)	660,875	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	602,675	文具・ビニール袋代 25,546 花火・紙雷管 19,900 競技用用品 17,259 弁当・飲料代 103,564 衛生用品・熱中症対策 2,980 参加賞品代 433,426
5	役務費	58,200	保険代 57,200 前日保険代 1,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	660,875	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	1,320	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	1,320	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	1,320	めんこ 1,320
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	1,320	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	祭り大塚共催事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	746,000	
2	繰越金		
3	負担金	599,950	祭り大塚協賛金 499,450円 祭り大塚出店料 82,500円 ステージ出演料 18,000円
4	合計(A)	1,345,950	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	121,188	司会料、出演料 110,000 景品 11,188
3	旅費		
4	需用費	116,445	弁当代、飲料代 54,314 ガソリン 7,361 文具 41,570 ポスター印刷 13,200
5	役務費	75,220	保険料、手数料他 38,300 ごみ処理料 29,744 クリーニング代 7,176
6	委託料	1,023,097	会場設営、電気設 営工事 247,632 会場設営、什器等 292,600 足場工事 143,000 協賛看板 61,668 照明、音響一式 66,000 誘導警備員(8人) 127,050 発電機、ライト 71,698 し尿汲み取り料 13,449
7	使用料及び賃借料	10,000	公民館使用料 10,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	1,345,950	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区
大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり充実事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	173,051	
2	繰越金	1,141,402	
3	その他	1,138	銀行利息
4	合計 (A)	1,315,591	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	26,237	事務局職員1人
2	報償費		
3	旅費	173,000	部会員、役員活動費 173,000
4	需用費	190,820	用紙、文具 87,027 インク 67,925 衛生用品ほか 3,418 会議用水 11,520 ガソリン 20,930
5	役務費	170,714	郵便代、切手代 17,900 保険代 6,490 電話代、インターネット 122,880 ウイルス駆除 (PC4台3年分) 19,800 手数料、送料 3,644
6	委託料	198,000	広報紙 198,000
7	使用料及び賃借料	556,820	リース車代 383,900 AED使用料 56,760 プリンタ、ハードディスク 116,160
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	1,315,591	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年5月19日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296番地3
名 称	大塚地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名	会 長 松田 博
電 話 番 号	53-4047

令和7年1月16日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,105,032円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します
ので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金	1,105,032円
特例交付金	18,020円

添 付 書 類

令和6年度収支決算（見込）書

大塚地域自治区地域協議会

会長 井福 経晏 (印)

令和6年度の大塚地域自治区のまちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

まちづくり推進委員会は、「まちづくり実践組織」として、各種団体と連携したまちづくり活動の中心的役割を担っており、「次世代も 笑顔あふれる 幸せな街 大塚」の実現のために、その活動は地域にとって非常に重要です。

大塚地域においては、活動者の固定化・高齢化、住民のまちづくりへの関心の低迷、事業参加者の減少等の課題を抱えながらも、日々活動に取り組み、各部会では「大塚地域まちづくりビジョン」の基本目標や重点項目に係る事業が実施されています。

先般、地域協議会で実施した「大塚地域まちづくりビジョン」の検証結果を意見書にまとめ、まちづくり推進委員会に提出していますので、意見書に挙がっている実施されていない重点項目の実施に向けても検討いただき、是非、ビジョンを達成していただきたい。

また、事業効果の検証、必要性の精査を行い、住民のニーズと合致した事業を展開していただきたい。

2 事業の推進体制

防災部会、福祉部会、環境部会、スポーツ・レクリエーション部会の4部会が地域の各種団体や学校と連携して事業を実施しています。活動者が固定化するなかで、効率的に事業を実施するためにも、また活動者の負担を軽減するためにも、各分野で専門的知識等を持つNPOなどの団体と連携を図り、事業の実施を検討していただきたい。

また、次代を担う人材の確保は大塚地域においても喫緊の課題ですので、「まちづくりサポーター」等による新たな人材の確保並びに各部会でのリーダー育成のための研修も是非実施していただきたい。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
見守り活動事業 (16年目)	警察や地域団体との情報交換会や小学校が開催する交通安全教室への参加を通し、学校や警察機関等と情報を共有しながら、来年度も、見守り活動組織、青色防犯パトロールを支援し、地域に根ざした地域の安全確保に努めていただきたい。

事業名	意見
防災訓練事業 (16年目)	本年度も防災倉庫の点検やコロナ前どおりの住民参加の防災訓練など、自治会の判断により防災訓練が実施された。来年度は、防災部会が更に地域の防災を担う組織として、自治会とともに訓練内容を検討し、参加者数の低迷、子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題解決を図っていただきたい。
防災力の向上事業 (13年目)	本年度は、大方計画通りに事業が実施出来ましたが、地域防災の向上にはリーダーの存在が重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題です。来年度は、自主防災隊と更に連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでいただきたい。
防災充実事業 (13年目)	災害時に住民の自助・共助が円滑に行えるように、来年度も、地域で必要な防災機器・用品を把握し、整備していただきたい。
生活支援事業 (8年目)	第2層協議体「チーム大塚」の会議の中で、「住み慣れた大塚・江南地域で、いつまでも安心して暮らしていけるように、困っている人を地域ぐるみで支える仕組みづくり」の一環として、市や地域包括支援センターと一緒に、ボランティアセンター設立の協議を進めていますので、来年度も引き続き協議を重ね、是非ボランティアセンターを立ち上げてほしい。
スマイル大塚事業 (15年目)	引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作り、3世代交流や地域住民同士の親睦を深めていただきたい。
男女共同参画 社会づくり事業 (16年目)	昨年度に続き本年度も、若い親御さん向けに「我が子に、性について話ができる機会を作ろう」と性教育からジェンダーについての講座を開催されました。また、本年度も参加者は子連れ可とし、子どもは別に預かったもので、親御さんもゆっくり聞いて良かったと喜ばれていました。講座の内容も好評だったので、来年度も継続を含めて、事業内容を検討していただきたい。
「やさしいまち大塚」 プロジェクト事業 (4年目)	来年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。
水流川 クリーンアップ事業 (14年目)	来年度も引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識の向上を図っていただきたい。特に「江南小学校の環境学習サポート」は、先生も熱心に取り組んでおられ、学校と地域が連携した素晴らしい内容になっていますので、モデル事業として大塚地域外にも積極的に広報し、多くの人たちに知っていただきたい。

事業名	意見
ダンボール コンポスト事業 (13年目)	ダンボールコンポストは地域にかなり普及し、確実に、生ごみの減量化が図られていますので、来年度も引き続き、環境についての意識が更に向上するよう推進していただきたい。
ペットマナー 向上事業 (10年目)	来年度も引き続き、ペット飼育者のマナーの向上と地域住民同士の絆づくりを図っていただきたい。
大塚音頭 普及促進事業 (12年目)	小学校での児童、先生、保護者への踊りの指導と大塚町体育祭、江南小学校地区体育祭での大塚音頭の普及は、定着してきたようですが、来年度は更に地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただけるよう、スポーツ・レクリエーション部会と大塚音頭保存会が密なる連携を図りながら、積極的に大塚音頭の普及を図ってほしい。
健康増進事業 (7年目)	街中オリエンテーリングは、開催期間内に自由な時間で参加できるという気軽さが好評で、参加者も多く、今年も大変好評でしたが、ニュースポーツ体験とストレッチ体操、今年度初めて開催したノルディックウォーキングは参加者が募集人数に達していませんでしたので、広報を工夫するなど、参加者の確保に努めていただきたい。
江南小学校地区 体育祭共催事業 (14年目)	自治会、PTA、まち推スポーツ・レクリエーション部会、住民の方々が一体となった体育祭が、4年振りに開催されました。待ちに待った子どもから高齢者まで、楽しく体を動かし、久しぶりに異世代交流が図られました。競技も工夫され、評判が良かったので、来年度もなお一層のきずなづくりをお願いしたい。
昔の遊びとニュー スポーツに挑戦事業 (14年目)	大塚小祭り、江南小フェスタの中で、本年度は、よく飛ぶ飛行機の折り方やあやとり、めんこ、おじゃみ、けん玉、折り紙等の昔遊びを体験しました。また、ニュースポーツでは、スカットボール、ミニボーリング、ラダーゲッター、ダーツにチャレンジし、参加した多くの子ども達は、楽しそうに、真剣に取り組んでいました。本年度も、大塚小・江南小ともにPTAと一体となった運営がなされ、事業の目的は、十分達成されましたので、来年度も、PTAとの連携を密にし、一層の事業の充実を図っていただきたい。
大塚町体育祭 共催事業 (14年目)	大塚町連合自治会と大塚地区体育会、まちづくり推進委員会が密に連携し、住民同士の親睦や三世代交流が大いに深められました。引き続き、なお一層のきずなづくりをお願いしたい。

事業名	意見
祭り大塚共催事業 (4年目)	<p>終盤は雨が降りましたが、概ね晴天の中での開催でしたので、1万人を超える入場者で賑わいました。出店も全店、ほぼ完売で、大変盛り上がりましたが、会場周辺からごみの苦情や青少年の問題行動への苦情、不審者情報等がありましたので、しっかり検証し、来年度の祭りの運営に活かしていただきたい。また、将来的には、活動交付金に依存しない、自走事業となるよう、更なる自主財源の確保も図っていただきたい。</p>
まちづくり 充実事業 (11年目)	<p>まちづくり推進委員会の活動や地域の情報を住民にいかに周知するかは、重要なテーマです。令和3年2月から広報紙の配付のほか、フェイスブックによる情報発信や広報も始めていますので、来年度も更なるフェイスブックの充実、飛躍をお願いしたい。</p>

4 その他